

## 液体膨張式キャピラリ温度過昇防止器 55.135 仕様書

1. 適用範囲  
本仕様書は、液体膨張式キャピラリ温度過昇防止器 製品番号 55.135XX.XXX に適用する。
2. 適用規格  
本仕様書以外に、次の規格を適用する。但し内容が相違する項目については、この仕様書の内容が優先する。
  - イ. 電気用品安全法
  - ロ. IEC パブリケーション 730
3. 認可  
VDE, ÖVE, UTE, KEMA, DEMKO, NEMKO, SEMKO, FIMKO, BEAB, SEP, UL  
認可条件は、本仕様書の規定と異なる場合があります。
4. 一般事項
  - 4.1 種類 液体膨張式キャピラリ温度過昇防止器
  - 4.2 スイッチ動作 スナップアクション
  - 4.3 接点構成 単極単投 温度上昇で接点 1-2 間 off
  - 4.4 開閉容量 NC: 16(2.6)A 250V~
  - 4.5 温度範囲 製品図面による
  - 4.6 センサー最高温度 製品図面による
  - 4.7 本体最高温度 120℃
  - 4.8 センサー材質、形状 ステンレス鋼(標準)
  - 4.9 キャピラリ管材質、長さ ステンレス鋼 870mm(標準)
5. 機械的性能
  - 5.1 各部寸法 製品図面による
6. 電気的性能
  - 6.1 耐電圧 AC1500V 1 分間
  - 6.2 絶縁抵抗 50MΩ以上 DC500V メガ
7. 作動温度特性  
付属の資料「NA25028 試験浴槽」と同等の浴槽で試験する。本体及びキャピラリは 23±2℃に保ち、キャピラリは 100mm 以上の部分が輻射熱を受けないようにすること。
  - 7.1 動作温度 製品図面による
8. 耐湿性  
湿度 30±1℃、相対湿度 93±2%に 48 時間放置後、槽内測定する。
  - 8.1 絶縁抵抗 2MΩ以上
9. 耐久性  
定格負荷を接続し、センサーに温度変化を与えて接点開閉を行ない試験する。
  - 9.1 耐久性 6,000 回
10. 構成材料
  - センサー ステンレス鋼 (SUS316L)
  - キャピラリ管 ステンレス鋼 (SUS316L)

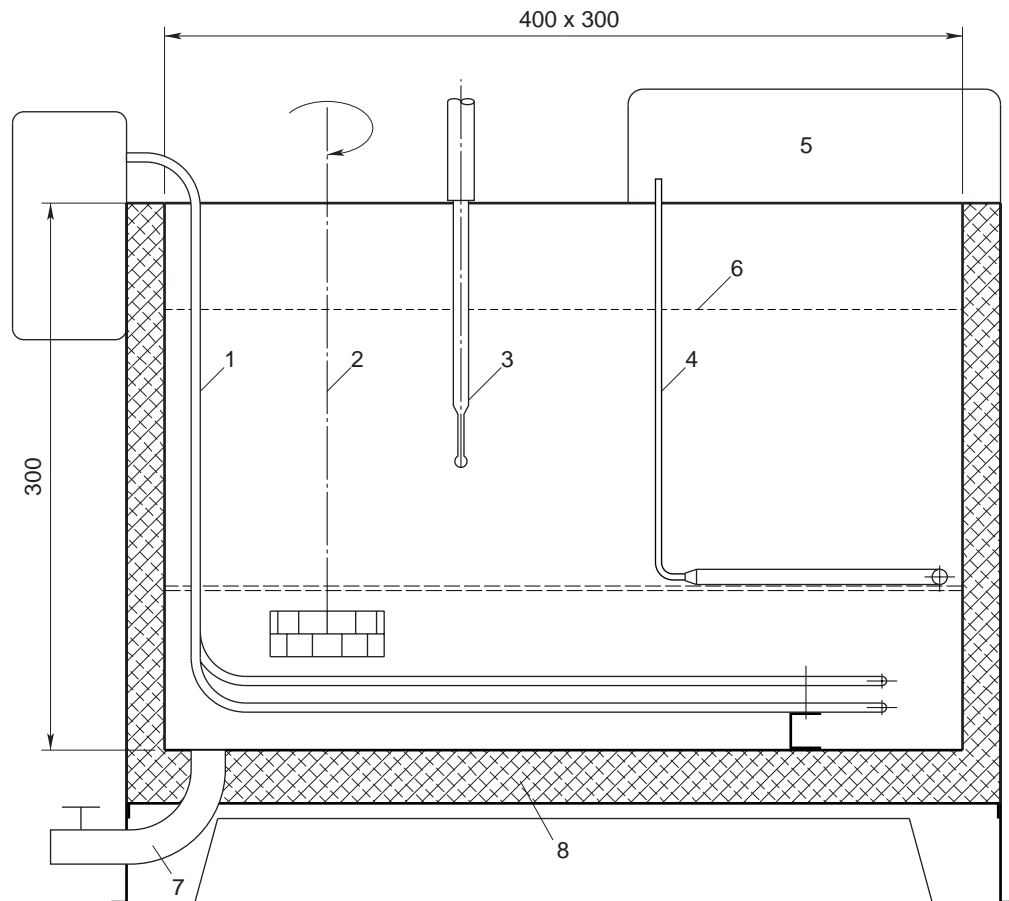
ダイヤフラム	ステンレス鋼
本体	ステアタイト
カバー	ポリアミド成形品
タブ端子	黄銅 6.4 x 0.8
可動接点	銀合金
固定接点	銀合金
絶縁板	ポリアミド
リセットボタン	ポリアミド

1 1. 取扱上の注意事項

- イ. キャピラリは捻じれの無いように伸ばすこと
- ロ. 接続には適合するリセプタクルを使用すること

試験条件

- |           |                |                  |
|-----------|----------------|------------------|
| 1. 浴槽液    | 98°C 未満        | 水                |
|           | 98 - 170°C     | シリコン             |
|           | 170°C 以上       | 塩 (DEGUSA AS140) |
| 2. 温度変化速度 | 1.0K / min. 以下 |                  |



- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 加熱装置               | 5. 制御装置          |
| 2. 攪拌機 (約 245 r.p.m.) | 6. 液面レベル (約 29L) |
| 3. 温度計                | 7. ドレイン          |
| 4. 制御装置温度センサー         | 8. 断熱材           |

				CAD 作成	日付 95.8.7	担当 Kobayashi	
変更	摘要	日付	担当	試験浴槽			
				<b>イージーオー日本株式会社</b> 651-0091 神戸市中央区若菜通6-4-19		<b>NA25028</b>	